



この夏も好評!! 出前講座



出前講座は校内組織の活性化、現地・現場での研修を支援するために実施しています。
「教職員全員で研修を受けることで共通認識が図れ、職場の活性化につながる」など好評をいただいています。

単元を貫く言語活動の充実!!

事前に学校と調整した教材を使い、ワークショップ形式で実際に単元を貫く授業を体験します。

数学的な思考力・表現力を育てる授業の充実!!

実際に児童になりきり、発見したきまりや解き方を、式や言葉、図表等で表現する活動を体験し、その後、単元目標から逆に組み立てていく方法を考えます。最後は、「算数・数学ナビつ〜る」の活用例も紹介!



想像を広げるワークショップ



算数的活動を通して規則性を見つける演習



演習で授業での中心発問を考えている



自校でできるユニバーサルデザイン授業についてのグループ協議

教科化へ向けた道徳教育の充実!!

道徳教育をめぐる動向を理解し、道徳科の授業作りや教材研究のポイントを確認します。

高等学校における特別支援教育の推進!!

高等学校における特別支援教育の現状を理解し、発達障害のある子どもも含めたわかりやすい授業作りのポイントを確認します。

◎「出前講座」申込等の詳しい内容は「研修講座の概要」を御覧ください。

センター所員の研究を

「研究紀要」としてまとめました。

授業づくりや別室登校など、喫緊の教育課題について
9編の論考を収録しています。ITECに掲載しています。

ITEC>「研究」>「研究紀要」

学級全員の学力を伸ばそう！

ユニバーサルデザイン授業

連載
第2回

学級の中には、LD（学習障害）、ADHD（注意欠如・多動症）、自閉スペクトラム症など、特別な配慮・支援を要する児童生徒が在籍している場合があります。全ての児童生徒にとってわかりやすい授業づくりをするためには、発達障害の特性と基本的な支援について知っておく必要があります。（※診断名はDSM-5による。）

今回の連載2回目は、**発達障害の特性と基本的な対応方法**について紹介します。



発達障害の特性に応じた指導を知ろう

LD（学習障害）

の特性に応じた指導

ADHD（注意欠如・多動症）

の特性に応じた指導

自閉スペクトラム症

の特性に応じた指導

主な特性

◎聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のいずれかあるはいはいくつかが極端に苦手。

Key Words

認知特性の把握と指導

学習意欲の支援

得意なこと好きなことの把握

子どもの学習の様子や、音読・書字等の学習の様子を分析し、的確な支援を行うことが必要です。また、本人が努力してもなかなかうまくいかないため、少しでも達成できたことをしっかり褒めてあげることも大切です。さらに、苦手なことばかりを練習するだけでなく、本人の得意なことに注目して力を伸ばしてあげることも必要です。

主な特性

◎適切に注意を向けたり、注意を持続することが難しい。
◎多動であったり、衝動的に行動したりする。

Key Words

即時評価・頻繁な評価

セルフコントロール力を高める

環境調整

子どもの小さな変化に気づき、すぐに評価することを繰り返し、他の人から認められる行動を増やしていくことが必要です。適切に行動できる場面を増やし、少しずつセルフコントロールの力を高めていきましょう。また、本人にとって学習しやすい環境を整えることで注意力の改善を図ることができます。

主な特性

◎他人と適切なコミュニケーションを取ることが難しい。
◎特定のことに強い興味関心を持つ。
◎視覚、聴覚などものの感じ方に偏りがある。

Key Words

不安の軽減

適切な社会行動の習得

支援を求める力

活動の内容、先の見通しなどを視覚化し、見通しが持てないことへの不安を軽減することが必要です。また、社会生活に必要な振る舞い方を具体的に教えることで、社会的に適切な行動をとれる場面が増えていきます。特に困難な場面で自分から助けを求める力を付けることは現在や将来の生活に役に立ちます。

こうした支援は、発達障害の有無にかかわらず、本人の学び方や理解の仕方に合わせて行う事が大切です。

詳しくは、ITEC > 特別支援教育 > 外部リンク集 > 京都府教育委員会特別支援教育課発行冊子「LD、ADHD、高機能自閉症支援ガイド」<http://www.kyoto-be.ne.jp/tokubetsu/sien/mokuji.htm>

を御活用ください。